

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3346		
科目名	英語プレゼンテーション2		
担当教員	金 恵京		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 2		
講義室	1202	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E 〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F 〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K 〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識・専門技能(25%) F2 課題解決(25%) I3 情報分析(25%) K2 オーラル・コミュニケーション(25%)		
教員の実務経験	アメリカにおいてニューヨーク州弁護士として大手ローファームに勤務。授業においては英語圏におけるプレゼンテーションの重要性を伝えると共に、その経験を還元する。		
成績ターゲット区分	3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本授業は今後の危機管理の専門家に求められる国際的発信力を高めることを目的としています。内容としては、最新の国際情勢に対する資料等を活用し、国際社会が抱えている様々な課題を検討しながら、議論やプレゼンテーションに必要とされる英語力の基盤を形成します。また、本授業は単に英語を教えるものではありません。英語を「いかに使うか」を学ぶことを目的としているため、ある程度の基礎力が必要となります。そして、受講者のプレゼンテーション能力を高める目的から、授業では受講生による英語での発表と質疑応答を重視し、その上で今後の情報発信に必要な表現等を紹介・解説していきます。 なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにライブ型のオンライン授業を取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。 （キーワード）情報発信力・表現力・グローバル化		
授業の趣旨	■ 副題 英語による意見発信の基盤形成 ■ 授業の目的		

	国際社会で危機管理について発言する際には英語力が欠かせませんが、より具体的には①幅広い知識を英語で持つこと、②語彙力、③それらを駆使して表現できる能力が必要になります。そこで、本授業では、各種社会問題の動向を踏まえつつ、様々な専門家による英語でのプレゼンテーションの現場で使用されている表現・語彙・振舞いの習得を目指しています。 ■授業のポイント 英語によるプレゼンテーションは日本で生活していると、余り触れる機会がありません。その結果、単に日本語のプレゼンテーションを英訳したものに止まってしまうケースや、方法が分からず戸惑っているケースが目立ちます。そこで、この授業では現代的な課題に関する質の高い英語のプレゼンテーションを手本にし、復唱を通じて必要な表現力や語彙力を身に付けていきます。その基盤の上で、「自ら英語での発表を行い、教員や他の学修者からの指摘を踏まえ、また改めて質の高い手本に触れる」というサイクルを繰り返します。そうした過程を経ることで、必要な能力が獲得できます。	
総合到達目標	・国際的な様々な政治・社会問題に対して、広い視野をもって捉えることができる。 ・英語によるプレゼンテーション能力の基盤を身に付けられる。 ・国際社会で求められる情報や自らの意見を英語で発信できる。	
成績評価方法	■以下の方法で総合的に評価します。 「授業参加度」として、授業中の積極的な発言を重視します。また、「授業内発表報告」として、各自が2回英語によるプレゼンテーションを行います。 ■（適用ルーブリック-割合）E1-25%、F2-25%、I3-25%、K2-25% ■授業参加度(60%)、授業内発表報告2回(40%)適用ルーブリック E1、K2 （評価基準）発表では「授業で示したプレゼンテーションの基本を踏まえているのか」「内容の精度が高く、的確な語彙を用いているか」を重視します。 （フィードバック方法）授業内発表報告の際に、教員および他の学修者からの評価を伝えます。	
履修条件	特になし。ある程度の英語の基礎が身に付いていることが望ましい。	
履修上の注意点	国際的な事象について関心が強い学生の参加を求めます。授業においては議論や積極性を重視し、復習の程度を随時確認するため、受講生には自発性と勤勉性が必要となります。また、英語でのプレゼンテーション学習が主軸となるため、文法等の基本的な解説を求める学生には適さない内容となっています。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の内容や進行方法、扱うテーマ、受講生が目指す到達点、評価方法について説明を行う。（F1、F2） ③予習（120分） この授業の毎回の予習としては、教員が事前に指定したテーマの内容および基本語彙を学んでおくことを求める。 ④復習（120の毎回の復習としては、講義で使用したプレゼンテーションの内容、表現、重要単語を整理し、それらを使いこなせるように反復することを求める。
	2	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 現代社会が抱える偏見、排斥、市民の在り方などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。（E1、K2） ③予習（120分） 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと考え英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習（120分） 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
	3	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 現代社会が抱える偏見、排斥、市民の在り方などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。（E1、K2） ③予習（120分） 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと考え英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習（120分）

	授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
4	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 現代社会が抱える偏見、排斥、市民の在り方などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。(E1、K2) ③予習 (120分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (120分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
5	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 現代社会が抱える偏見、排斥、市民の在り方などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。(E1、K2) ③予習 (120分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (120分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
6	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 世界が直面する難民、貧困、紛争などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。(E1、K2) ③予習 (120分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (120分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
7	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 世界が直面する難民、貧困、紛争などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。(E1、K2) ③予習 (120分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (120分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
8	①授業テーマ プレゼンテーションの実践 I ②授業概要 これまで授業で紹介してきた内容を踏まえ、自ら検討したいテーマについてのプレゼンテーションを各自が行う。発表後に質疑応答を行い、フィードバックとして教員および他の学修者が評価する。(F1、F2) ③予習 (120分) 自らが行うプレゼンテーションの準備を進める。 ④復習 (120分) 教員および他の学修者からの評価を踏まえ、自らが行った発表の課題を整理し、以降の授業では常に意識すること。
9	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 世界が直面する難民、貧困、紛争などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。(E1、K2) ③予習 (120分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (120分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。

	10	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 世界が直面する難民、貧困、紛争などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。(E1、K2) ③予習 (120分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (120分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
	11	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 世界が直面する難民、貧困、紛争などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。(E1、K2) ③予習 (120分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (120分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
	12	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 世界が直面する難民、貧困、紛争などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。(E1、K2) ③予習 (120分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (120分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
	13	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 世界が直面する難民、貧困、紛争などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。(E1、K2) ③予習 (120分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (120分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
	14	①授業テーマ 模範例を通じた学習 ②授業概要 世界が直面する難民、貧困、紛争などの課題についての英語によるプレゼンテーションを視聴し、その表現、振舞いなどを復唱を通じて身に付ける。(E1、K2) ③予習 (120分) 教員が事前に伝える議論内容を自ら検討し、理解に欠かせないと思う英単語を調べ、身に付けた上で授業に臨むこと。 ④復習 (120分) 授業で紹介した頻出表現・重要単語を習得すると共に、プレゼンテーションの内容についても理解を深める。
	15	①授業テーマ プレゼンテーションの実践Ⅱ ②授業概要 これまで授業で紹介してきた内容を踏まえ、自ら検討したいテーマについてのプレゼンテーションを各自が行う。発表後に質疑応答を行い、フィードバックとして教員および他の学修者が評価する。(F1、F2) ③予習 (120分) 自らが行うプレゼンテーションの準備を進める。 ④復習 (120分) 教員および他の学修者からの評価を踏まえ、自らの発表の課題を整理する。
関連科目		英語プレゼンテーション1 (RMGT 3345)
教科書		特に定めない。

参考書・参考URL	特に定めない。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜日 3時限(13:00～14:30) それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントメントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	すべて100%

